



株主提案はすべて否決 全電力会社

六月二十八日、東京電力、

関西電力など原発を抱える電力九社の株主総会が福島事故後、はじめて「全社黒字」という好業績の中で開かれました。そして九社すべてに脱原発を求める株主提案が出されました。

関西電力では二十二本の脱原発、再生エネルギーへの移行を提案する議案が出されました。しかし、それはすべて否決。他の電力会社も同様です。

関西電力は、総会後の役員会で新社長を選出。

新たに岩根茂樹氏(六三

歳)が就任しました。氏は「エネルギー分野のリーディングカンパニーになりたい」と述べ、「原子力は重要な電源」とし、福井県内に立地する原発の再稼働を引き続き目指す考えを強調しました。

最大株主の大阪市の代理人である河合弁護士が、「あなた方は再稼働が必ずと繰り返し返しているが、福島事故の恐ろしさ、深刻さに言及しない。首都圏を含む二五〇キロ圏内が壊滅したかもしれない。原発は国を滅ぼすかもしれない」

れない」

「関電だけが栄えていいのか。あなた方は今だけ、金だけ、自分だけ(よければいい)。これを念仏のようにいって、自分がそういう状態になっていないか、よく反省してほしい。原発が一つでも過酷事故を起こせば琵琶湖がやられる。琵琶湖の水を飲んでいる人が千五百万人いる、その水源地をやられる、それでいいんですか」と提案の趣旨説明を行い「(関電の経営は)ギャンブル経営だ」と非難しましたが、

まったく届いていないようです。責任をとれもしないのに原発依存の経営を続ける関電その他の各電力会社は、自分たちがいかに愚かなことをしているか、他人の命を脅かしているか考えるべきです。

次ページに「放射性物質が体に及ぼす影響」を掲載しますので参照してください。

アート・アド分会 N

放射性物質が体に及ぼす影響

核種	半減期	特徴と体への影響
ヨウ素131	8.04日	核分裂で大量に生成する。人がヨウ素131を吸収する主な経路は、牧草→牛→牛乳→人の食物連鎖。放出量が多い場合は、飲料水や空気を経る経路にも注意。甲状腺被曝が一番問題。チェルノブイリ原発事故では、周辺住民に甲状腺がんが多発した。 <u>2016年6月6日に公表された最新の福島県民調査報告書によると、福島県の小児甲状腺がん及び疑いの子供達は、3か月半前…前回の166人から6人増えて合計172人。(2016年3月31日現在)</u>
セシウム137	30.1年	チェルノブイリ原発事故では、1㎡当たり、50万ベクレル以上のセシウム137で汚染された。原発事故だけでなく、世界各地の再処理工場からも大量に放出されている。性質が似ていることから、カリウムと置き換わりやすく、血液や筋肉に蓄積する。野菜にも含まれるが、特にキノコや魚が危険。
ストロンチウム90	29.1年	カルシウムと似た性質を持ち、水にも溶けやすい。体内摂取されると一部は速やかに排泄されるが、かなりの部分は骨に蓄積し、長期間にわたって、放射線を出し続け、細胞や遺伝子に悪影響を与える。 福島第一原発事故以降、海水のストロンチウム90の濃度が上昇しており、海水魚には注意が必要。特に骨まで食べる小型魚が危険である。
プルトニウム	2.41万年	ウランの中性子照射で生まれる、非常に危険な核種。一度吸い込んだら理論的には一生内部被曝を受け続けることになる。 人類が遭遇した最悪の物質とも言われ、その毒性は他の核種と比べると著しく高い。 最も危険な経路は、空気中に粒子状になったプルトニウムを口から吸いこむこと。肺や胸のリンパ節に取り込まれるか、血管を経由して骨と肝臓に沈着する。
トリチウム(三重水素)	12.3年	化学的性質が水素と同じなので、水素と入れ替わることができる。除去できない。体内に取り込まれたトリチウムが遺伝子の構成元素になると、放射線を出してトリチウムがヘリウムになったとき、遺伝子DNAそのものが壊れる。

小出裕章著「原発はいらない」147P参照。ヨウ素の項目の下線部は長澤が追記。

トリチウムは「食品と暮らしの安全」参照。http://tabemono.info/report/former/genpatu5.html

組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう！